

新たな取り組みの方向性と基本方針について

現行プラン

新プラン（案）

資料 2

令和 6 年10月18日

北区地域総務課

基本方針と施策	具体的な取り組み	内容	指標(令和4年度末時点)		
			R2	R3	R4
基本方針① 公共交通を利用しにくい地域への対策を検討します					
ア 公共交通を利用しにくい地域における、利用ニーズの調査と分析を行い、各種社会実験の是非を検討します	○区内各地区の利用ニーズ調査と分析	区内の利用ニーズを踏まえたうえで、住民組織が主体となって運行する住民バスの助言や支援、必要に応じて社会実験を行います	利用ニーズを踏まえた社会実験の検討（随時）		
	○利用ニーズを踏まえた各種社会実験の検討				
イ 目的バスと連携し、多様な移動需要に対応します	○連携病院との定期的な情報共有と新たな連携策の検討	連携病院と情報共有の機会を設け、新たな連携策の検討を行います	連携病院との打ち合わせ（1回/年）		
	○区公共交通時刻表への相互接続情報の掲載	目的バスと区公共交通のダイヤ調整を行い、時刻表に相互接続の情報を掲載します	掲載可能な目的バス運行事業者（2者）		
基本方針② 既存の公共交通網を活かし、わかりやすく、使いやすくします					
ア 区バス・住民バスの利用実績の調査と分析を行い、実情に即した運行計画とします	○区バス・住民バスの利用実績の調査と分析	現行の区バス・住民バスを生活交通としてさらに使いやすくするため、運行内容等について継続して見直します	区バス・住民バスの利用実績調査（毎月） 実態を踏まえたうえでの運行改定（随時）		
	○区バス・住民バスの運行計画見直し				
イ 「わかりやすく、見やすく」を目指し、区公共交通についての情報発信を行います	○区公共交通時刻表及び新規利用者向け乗り方案内の発行		時刻表及び乗り方案内発行（1回/年）		
	○各種広報媒体（区だより・ホームページ等）による定期的情報発信	公共交通の利用促進に向け、広報を行うとともに案内標識などを維持管理します	区役所だより等へPR記事掲載（5回/年）		
	○豊栄駅・新崎駅案内看板、連携病院案内ラックの維持管理		案内看板、案内ラックの維持管理（随時）		
基本方針③ 持続可能な公共交通を地域とともに考えます					
ア 住民バス団体等や地域コミュニティと持続可能な公共交通を検討します	○住民バス団体等との意見交換、情報共有の継続と協働の推進	既存の公共交通を持続可能な運行としていくため、住民バス団体等と意見交換、情報共有を図ります	区バス運行事業者、住民バス団体との意見交換（2回/年）		
	○地域コミュニティとの意見交換、情報共有	通勤や通学、通院や買い物等、地域住民の必要最低限の生活交通網の確保のため、各地域の実情を踏まえて、住民組織が主体となって運行する住民バス団体の立ち上げを支援します	地域コミュニティとの意見交換（随時） 新規住民バス団体の立ち上げ支援（随時）		
イ 区内交通関係者と情報共有及び意見交換を実施します	○北区地域公共交通検討会議の定期的な開催、区生活交通改善プランの進捗確認	持続可能な北区の公共交通網の形成に向け、市民や公共交通関係者との協働により検討を行う場として、各種会議を開催します	会議開催（1回/年） 会議開催（運行改定時）		
	○北区地域公共交通に関する意見交換会の実施				

基本方針 1

具体的な取り組み・内容

指標

基本方針 2

具体的な取り組み・内容

指標

基本方針 3

具体的な取り組み・内容

指標

【基本方針等の変更のポイント】

（現行プラン）

- 指針の内容は重複項目が多い

（新プラン）

- 基本方針を、①既存交通に関すること、②社会実験および新規地域公共交通の立ち上げなど、地域に即した交通の検討、③周知 に分類

- 指標を収支率（具体的な数値）とし、成果を目に見えるように設定

①持続可能な公共交通の実現を目指し取り組みます

(1) 区バス・住民バス（おらつてのバス）・エリアバス×タクについて運行計画を継続的に見直します。

区バス 見直し	R 7 運行改定等	R 8	R 9	R 10
	→	→	→	→

住民バス （おらつてのバス） 見直し	R 7	R 8	R 9	R 10
	→	→	→	→

エリアバス ×タク 見直し	R 7	R 8	R 9	R 10
	→	→	→	→

(2) 区バス・住民バス（おらつてのバス）・エリアバス×タクについて収支率の向上に努めます。

区バス 収支率	現状値 (R 5)	→	R 7～R 10
	26.7%		30%以上 ※目標収支率

住民バス （おらつてのバス） 収支率	現状値 (R 5)	→	R 7～R 10
	24.3%		20%以上 ※100%→80%（補助率）

エリアバス ×タク 収支率	現状値 (R 5)	→	R 7～R 10
	31.1%		30%以上 ※目標収支率

※運行経費が増加した場合においても、目標収支率を下回らないことを目標とする。

②地域に即した公共交通を地域とともに検討します

(1) デマンド交通などの社会実験について、住民団体・地域コミュニティ、区内交通関係者等と意見交換を行い、地域に即した公共交通を目指します。

デマンド 交通	R 7～R 10（予定）
	現状・課題把握→改善検討→改善実施 →改善状況等注視→本格運行開始

(2) 随時、住民団体立ち上げ支援や情報提供を行い、公共交通を利用しにくい地域の取り組みについて、協働で取り組みます。

立ち上げ 支援	R 7	R 8	R 9	R 10
	→	→	→	→

(3) 病院等の目的バスと連携するなど、さまざまな地域資源の活用を検討し、意見交換を行います。

意見交換	R 7	R 8	R 9	R 10
	→	→	→	→

③公共交通の利用促進・情報発信に取り組みます

(1) 「わかりやすく、見やすく」を目指し、北区公共交通に関する情報を発信し、公共交通の利用促進に努めます。

区だよりで の情報発信	R 7	R 8	R 9	R 10
	→	→	→	→

ご利用案内 の発行	R 7	R 8	R 9	R 10
	→	→	→	→

ホームページ による情 報発信	R 7	R 8	R 9	R 10
	→	→	→	→